

◆伊達文庫の蔵書



『名山図譜』

谷文晁画 川村元善編
文化元年序 刊本

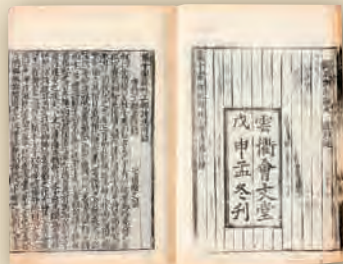
江戸期、南画の大家といわれた谷文晁が描いた、全国の山岳画集。編者の川村元善は奥州南部出身の医師でした。後には『日本名山図会』と改題されています。



『光琳百図』 2巻後編2巻

尾形光琳画 酒井抱一編 刊本

人物や草花、山水など200余図が描かれ、光琳芸術を後世に伝える唯一の作品といわれています。江戸琳派の継承者、酒井抱一が、尾形光琳の百回忌記念に製作したものです。



『集千家註批点杜工部詩集』

20巻文集2巻附録1巻付杜工部年譜1巻

(唐)杜甫撰 (宋)劉辰翁評点
(元)高楚芳編
日本南北朝徳元至大元年
雲衢会文堂刊本重刊

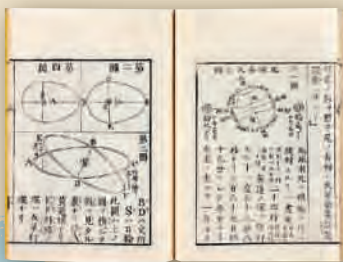
南北朝時代に刊行されたと思われる、五山版(禪宗寺院で刊行された書物)。宋、元、明代の中国、朝鮮で出版された書物の模倣、復刻が多く、日本の出版文化に与えた影響の大きさをうかがわせます。



『掬月集』

伊達重村著

仙台藩第7代藩主伊達重村の自筆歌集。教養が非常に高い藩主で、第5代藩主吉村の時代につくられた学問所が、重村の治世下(安永元年)において「養賢堂」と称されるようになりました。



『刻白爾天文図解』 2巻

司馬江漢(漢)著
文化6年序 刊本

コペルニクスの地動説を紹介した書物。司馬江漢は、鈴木春重という名の浮世絵師でしたが、蘭学者、また日本で初めて銅版画を試みた人物としても著名です。



『礼儀類典』

510巻正誤1巻図絵3巻

徳川光圀編
宝暦2-4年 写本

朝廷や公家の儀式、典礼全般を網羅した部類記。徳川光圀は江戸藩第2代藩主で、紀伝体の歴史書『大日本史』の執筆を始めた人物です。

ひとくちコラム

●蔵書閲覧に誓詞—親兄弟にも他言しないと塩竈大明神に誓った!?

伊達家の蔵書が仙台城二の丸の書庫「御物置」に収蔵されていた時代、それらはもとより藩主の蔵書であったので「衆の観ること得ざりしもの」でした。しかし、時には家臣も閲覧することが許されたのですが、閲覧の際には誓詞を提出しなければなり

ませんでした。誓詞は「御系図御代々記並治家御記録拝見被仰付候者誓詞」というもので、これらの記録の内容について親子、兄弟にも他言しない、写し取ることもしないと、日本国中の神々ならびに塩竈大明神に誓うものだったのです。



塩竈大明神



図書館 a r o u n d t h e み や ぎ

◆シリーズ第21回

美里町南郷図書館

館長 小丸知子

美里町南郷図書館は、平成18年9月に小牛田図書館の分館として開館しました。美里町は平成18年1月に旧小牛田町と旧南郷町が合併した、人口26,000人の水田地帯の町です。

南郷町には図書館がなかったため、南郷総合支所となった旧南郷町役場の1階の空スペースを利用し、南郷公民館図書室の蔵書を引き継ぎ、新刊書とCD・DVDを購入して図書館として整備しました。面積260㎡の小さな図書館ですが、小牛田図書館とオンラインで結ばれていて両館の蔵書が一度に検索ができ、家庭や携帯電話からもインターネットで予約ができるため利便性が高く、多くの方に喜ばれています。

南郷地区の方には図書館の存在や機能がまだまだ浸透しておらず、まずは「図書館」とはどのようなものか知らせるために、催し物をしたり、他の施設に出向いたりしてPRに努めています。幼稚園・保育所がすぐ近くにあるため子どものお迎え時に立ち寄る人も多く、一番多い利用層が30代であることが特徴です。また夕方には学校帰りの小中学生の姿があって、まさしく若い図書館といえます。12,000冊でスタートした蔵書も20,000冊に増え、南郷地域の

地域資料の収集・整理も進み、より図書館らしくなりつつあります。より多くの方に利用していただけるよう、小牛田図書館と協力しながら「地域に根ざしたやさしさあふれる図書館」を目指していきたいと思っています。



美里町南郷図書館

- 蔵書冊数：16,148冊(平成18年度末)
- 貸出冊数：11,951冊(平成18年度実績)
- 開館時間：10:00~18:00
- 休館日：毎週月曜日、毎月第1木曜日、祝日、年末年始
- 交通：東北本線小牛田駅から町民バス 美里線で「南郷総合支所」下車

住所：〒989-4205

遠田郡美里町木間塚字中央1番地

TEL:0229-58-1212 FAX:0229-58-1215

ホームページ: <http://www.town.misato.miyagi.jp/10shisetu/tosyo/index.html>